



エネルギー・コミュニケーション 論分野

基本理念と方法

この分野(吉田研究室)では、エネルギー・環境問題に対して、主に「その問題を
生み出す社会とはどのような社会なのか」「なぜ、どのようにそれが「問題」とされ
てきたか」というメタ的な視点からアプローチし、問題の多角的な理解や解決を目
指します。

そのため分析に用いる方法は幅広く、研究対象の自然科学的な理解を前提として、
社会理論の検討、統計解析、新聞・雑誌などの言説分析、当事者へのインタビュー
などの社会科学的手法を組み合わせ問題に迫っていきます。

特徴

この分野は人間・環境学研究科との協力講座になっており、
多様な研究対象・研究方法をもつメンバー(下記参照)との
議論を通し、問題を多角的に捉えることができます。

また、他研究科や他大学の学生・教員も含めた読書会や研究
会も複数行われており、自分の関心に合わせ自由に出席し、
知識を深めることができます。



研究室概要

院生の研究テーマ(例)

リスク社会論
専門知識のコミュニケーション
映像・文化社会学
監視社会論
ネット右翼

etc.

進路

博士後期課程進学
日本商工会議所
東洋経済新報社
リクルートコミュニケーションズ
滋賀県竜王町他公務員

etc.

メンバー構成

教授: 吉田純
博士後期課程: 7名
修士課程: 11名
研究生: 3名